

議会だより

No.
147

町議会 6 月定例会

- 2 6 月定例会
- 3 主な議決事項
- 4 一般質問
- 10 本会議の質疑から
- 11 議会日誌



八丈町消防団の夏季訓練では、団員143人が参加し、現場に置ける安全管理や消火活動に伴う無線運用、実技を学んだ。

平成20年 6月定例議会



6月の議会の様子

第二回八丈町議会定例会が、6月9日に開催されました。
 今回の一般質問には、5名の議員が登壇し、町政について問いました。一般会計補正予算の審議の中では、八丈富士のノヤギ駆除対策としてのフェンスの購入や、4、5月の荒天で塩害を受けた口べ生産者へ回復のための肥料の配布などの予算が審議されました。
 また、議会終了後、全員協議会が開かれ、町立病院の経営診断報告、新火葬場の運営や坂上保育園統合にかかる経緯の説明がありました。

移入動物の被害にどう対処するか…

伊豆諸島の新たな取り組み

作物の生育が活発になるこの時期は、毎年病害虫による農作物被害が発生します。6月議会では、榎立伊郷名地区のシャクトリムシの大発生や八丈富士のノヤギ駆除対策が話題になりました。八丈町では、ノヤギ、イタチ、カラス、ヤンバルトサカヤスデなどによる様々な被害が報告されています。

なかでも、移入動物による獣害については今、伊豆諸島の大島、新島も共通の悩みを抱えています。

各島の現状

■大島の場合

大島、新島はいわば、ご近所とも言える島ですが、それぞれでまったく違った種類の移入動物が被害を及ぼしています。



台湾リス

大島の場合、戦前、大島公園から逃げた台湾ザルと台湾リスが繁殖し、30年以上前から駆除を行ってきました。現在その数は推測で、台湾ザルは約3000頭、台湾リスについては約2万5000頭とされています。



台湾ザル

■新島の場合

新島の場合、昭和40年代に新島のとりに位置する地内島に、大島公園と多摩動物公園から観光目的に導入されたシカの一部が、新島に泳いで渡ってきたと言われています。その数は推測で約840頭、島のサツマイモをはじめとする農作物の食害も深刻ですが、交通事故の原因となったり、シカにつくダニが広範囲にわたって山林に発生し、

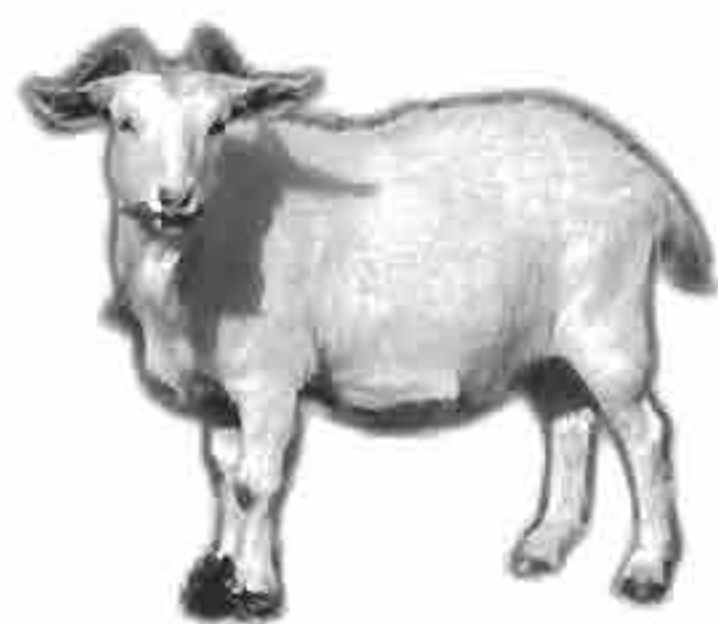


ニホンシカ

ハイキングなどで野山に入る人に影響が出ています。

■ 八丈島の場合

八丈島はというと、やはり家畜として飼育されていたヤギが逃げて野生化し増えていきます。ヤギは群れをつくる習性があり、群の数から推測すると、生息頭数は推測で300頭ほどと考えられています。島の基幹作物であるロベ



ノヤギ

などの食害、富士牧野の牧草など昨年度一年間の被害総額は2000万円を超えています。

■ 島しょ農作物獣害防止緊急対策事業

この事業は、大島・新島・八丈島における農作物被害を解決するために実施される東京都の補助事業です。

それぞれの島が5年間で移入動物であるタイワンザル、タイワンリス、シカ、ノヤギの移入動物の撲滅を図ることを目的としています。

いずれも、無人島ではないので、駆除は簡単ではありません。人の出入りがある場所で駆除するには、住民への周知と理解を得たうえで事故のないよう、細心の注意が払われなければなりません。過去の失敗と、成功に学びなが

ら、最小の年数と費用でこの駆除事業が終了するように、議会も協力しなければならぬと思います。

■ 人間の責任

もともと、それぞれの島に生息していなかった動物が、人間の都合で持ち込まれ、さまざまな管理の結果により野生化しました。その頭数が増えれば増えるほど、農作物の食害や、それらに寄生するダニやノミ発生も必然的に増えていきます。

しかし、それら移入種の定着は、人間の生活だけではなく、地域固有の生態系を壊し、在来種を絶滅の危機にさらすことにもなりかねません。人間の手で運ばれたものを、人間の手でもとに戻すことは私たち人間の責任です。

■ 八丈小島は

八丈小島で野生化したヤギが増え、植物の食害によって裸地化が進み、土砂流出による漁業への被害や自然環境への影響

が問題になりました。町は東京都の支援を得ながら、5年という時間と多額の費用(約1億円)をかけて、ヤギの駆除をほぼ成功させました。

○ 移入種 —— 自然分

布範囲外の地域または生態系に人が持ち込んだもの

○ 在来種 —— 自然分布している範囲内に存在する種

6月議会主な議決事項

- 専決処分事項の報告及び承認について 7件
- 平成19年度八丈町継続費繰越額の報告について
- 平成20年度八丈町一般会計補正予算 ほか補正予算 3件

7月臨時議会主な議決事項

- 平成20年度八丈町一般会計補正予算 ほか補正予算 1件
- 八丈町火葬場条例の一部を改正する条例
- 表層浮魚礁資材購入契約 ほか契約1件



管理型最終処分場建設による水資源への影響を問う

答 治水・利水の考え方では影響がないという一定の立証がなされている



菊池 陸男 議員

◆所要時間 49分

質問 4月16日の東京都島嶼町村一部事務組合（※以下一組）の説明で、水資源への影響を尋ねたが、明確な答弁は聞けなかった。

永久にわたり安全な飲料水の確保は絶対条件である。説明によると、環境調査は予定されているが、他方「水資源

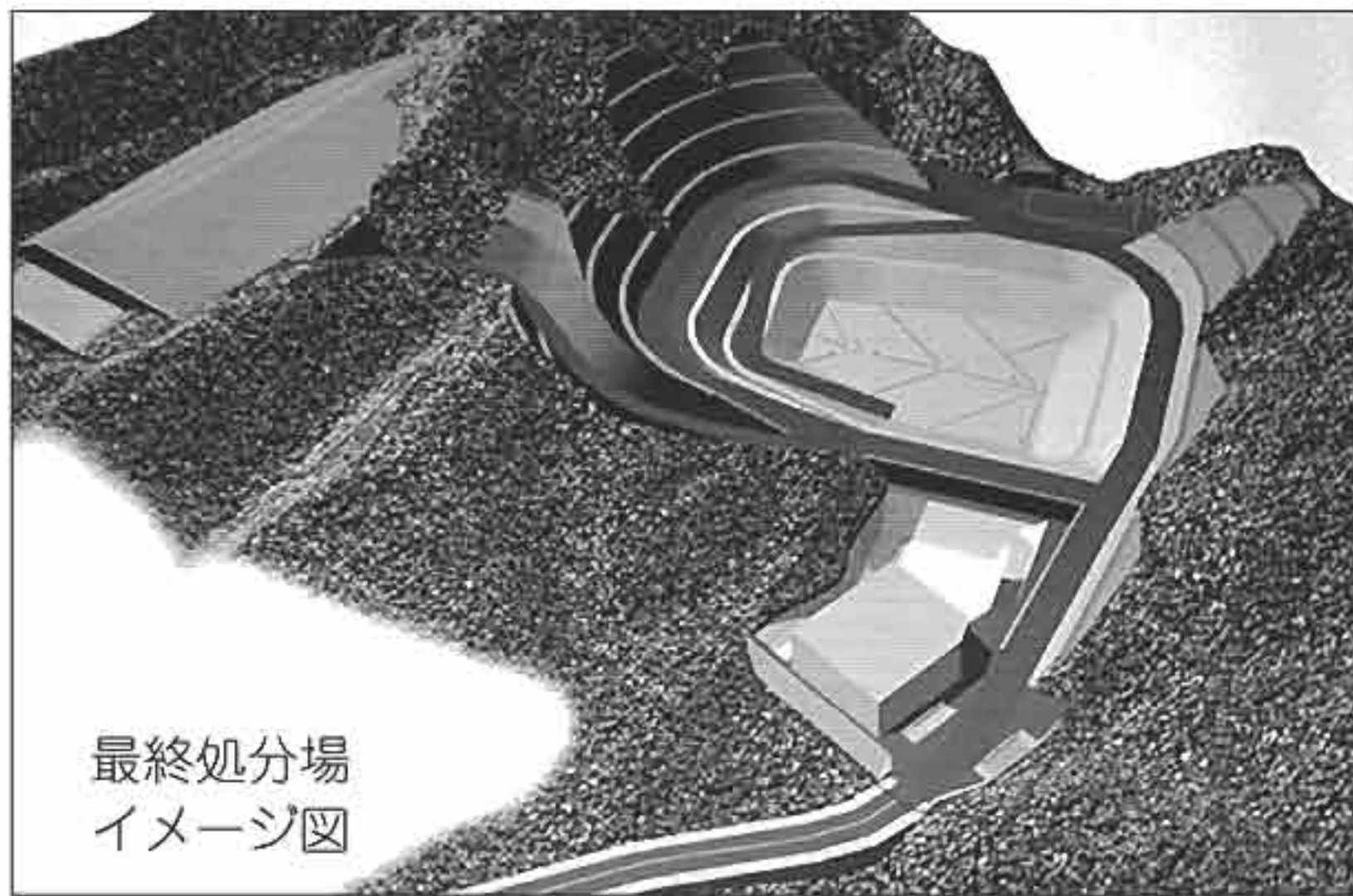
への影響はないといえる」、その立証責任について、どう考えるか。

答 山越 整 住民課長

一組は、処分場用地を含む流域を示し、治水・利水の考え方に基づき、通常この流域内に降った雨が他の流域に及ぶことがないということから、地下の地層構造を

詳細に調査したものであるが、水資源への影響はないと説明した。

町は安全な飲料水を供給する責任がある中で、一組と調整をしながら、住民が納得できる説明会の実施と、安全な施設整備に協力していく。



最終処分場イメージ図

後期高齢者医療制度による八丈町と町民の負担増を問う

答 扶養されていないほとんどの75歳以上の高齢者は保険料が下がる

質問 後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を囲いこみ、差別医療を押し付ける医療制度である。

全都道府県医師会の6割を超える30道府県医師会も異議を唱えているが、八丈町の負担増や町民への負担はどのようになるか。

答 浅沼 房徳 健康課長

町の負担分は後期高齢者医療制度が始まっていない前年



と比較して4065万4000円の増になった。

八丈町の後期高齢者医療制度の対象となる高齢者は、約1350人いるが、国保の被保険者だった方で、子どもに扶養されていない場合、保険料はほとんど下がると考えているが、国保の資産割の関係もあって、引き続き調査を行っていく。

こんな質問もしました

質問 永郷富士山線の活用策を問う

答 八丈小島展望台とアシタバ摘み取りゾーンを計画。

町職員・議員の出張旅費削減を

答 議会から提案があれば検討する



奥山 幸子 議員

◆所要時間 26分

質問 今、どの自治体でも限られた税収の中で、歳出削減に力を入れている。思い切った削減策や独自策に取り組んでいる自治体にならって、出張旅費の経費削減を提案したい。出張旅費の宿泊費については、これまでの1日1万1000円から1万5000円の支給を一律1万円にし、経費節減に努めるべきと

思うが、町の考えを問う。

答 関村 三男 総務課長
宿泊費については、東京都に習い、職務段階に応じて支給していて、適正な金額であり、厳正に執行しているので、引き下げる考えはないが、議会からの提案があれば、削減を考えたい。



合併処理浄化槽に係る費用の適正化を望む

答 浄化槽法に基づき実施している

質問 3・4月号の町の広報に浄化槽法が改正され、指導に従わない場合は、罰則規定が設けられたというお知らせがあった。法定検査義務の根拠や料金設定について住民への説明が十分ではないと考える。合併浄化槽を設置している世帯の場合、3回の



合併浄化槽

保守点検（3回で1万3500円）、1回の浄化槽清掃（1万9000円）と法定検査が5500円かかる。これを遵守し、きちんと納税していれば9000円の町の補助が得られ、合計3万175円になる。しかし、この高齢者の一人暮らしや、島外病院での長期入院など使用頻度が少ない場合や、環境に配慮してきれいに使っている場合も5人槽の一律料金なので公平性を欠く仕組みだと思うが、町の考えを問う。

答 山越 整 住民課長

義務化の背景には、従前から行なわれている法定検査の受検率が低いことで指導監督権限が加わった経緯がある。住民への説明については、広報はちじょうでの掲載と使用者への直接の説明を続ける。経費負担の軽減は、まず維持管理の推進を優先させていく。公平性については、あくまでも浄化槽法をもとに実施していることであり、八丈町だけ運用する回数を減らすことはできない。この仕組みを住民に理解してもらえよう努めていきたい。

答 学校はじめ島嶼でも実績がある業者と契約



菊池綾子 議員

◆所要時間 14分

質問 八丈町で長年続けている外国人講師による英会話事業は、今まで個人との契約だったが、昨年度から随意契約により委託業者が講師の派遣をしている。受講者から講師、カリキュラムなどに不満を感じていると耳にした。町として委託後の監督はなされているか。また、その委託業者を選択した経緯や契約内容を示せ。

答 佐々木眞理 教育課長

これまでは町の英会話講師は2名体制で、講師との契約は1名が個人、1名が民間会社と契約していた。個人契約をしていた講師が転出するのを機に、講師が疾病等で休んだ場合の代替措置ができない部分などの課題を改善しようとして、民間委託に変更した。委託業者の選択については、全国で学校・官公庁など1400団体と契約している。



て、大島町、小笠原村などの島嶼でも実績のある業者。町の条件を提示し、業者から見積もりを取ったうえで採用した。契約金額は、年間430万5000円。月々金曜日まで週35時間以内の勤務で、外国語指導助手として、小中学校へ派遣と授業で使用する教材研究・作成。英会話研修として、講師の配置、年間指導計画、学習指導案を作成すると

きの情報提供と企画立案、授業の反省、分析、評価、英語力測定テストの実施、採点、スピーチコンテストでの判定など14項目が仕様書に書かれている。監督という点では、毎年受講者に対して、レッスンや講師、カリキュラムに対する満足度や改善すべき点などを記入してもらい、業者と話し合いながら進めている。

今後、委託を予定している業務で、現在雇用されている人は、どうなるのか

答 給食センターの臨時職員は、委託後もできるだけ採用してもらうよう働きかける

質問 今後、委託されると思う事業に、給食センターや火葬場などがあるが、現在雇用されている人のその後の扱いなどは、どう考えているか。

答 佐々木眞理 教育課長
平成21年度に学校給食の調理業務と配送業務を民間委託することを目標としている。

現在、給食センターでは、正職員以外に臨時調理員9名、臨時運転手4名を雇用しているが、皆、経験豊富で円滑な給食業務を行なう上で、貴重な存在といえるため、委託先にもできるだけ引き続き雇用してもらうよう、働きかけた。

しかし、最終的には委託する会社の経営方針や労働条件、必要な人数もあるので、町からの契約条件とすることは難しい。

答 山越 整 住民課長

新火葬場の供用開始の10月を目途に個人との契約から、団体による**指定管理者制度**の活用を検討している。現在委託している個人との契約は9月までとしている。

指定管理者制度とは？

住民福祉を目的とする公共施設の管理運営を民間事業者等（必ずしも法人格は必要ではない）団体ノウハウを活用し行なってもらふことにより、サービスの向上や経費の節減等を目的とした制度です。

地震・台風などの災害対策は万全か

答 防災無線・広報車両で災害情報を迅速に周知する



菊池 孜行 議員

◆所要時間 19分

質問 八丈町では、災害に備えて毎年防災訓練を実施しているが、一歩進めて災害発生時に我々住民はどう対応していくべきかを次のことを問う。①どこかの地区で大災害が発生した場合、町は住民にどのように知らせるか。②災害時に、被災した家族は、どこに連絡して何をすればいいか。③非常食の備蓄量と備

蓄場所は。④毛布や雨よけの備蓄はされているか。⑤保育所、小中学校の耐震は満たされているか。⑥坂上にヘリポートをつくる考えはあるか。⑦災害時の独居や寝たきり老人を含む高齢者へはどのような対応するか。

答 関村三男 総務課長

①災害発生時の住民へ周知

台風のシーズンがきます！

～ご家庭で行ってほしいこと～
防災無線の電池の確認をしましょう
家族間で災害が発生したときの避難場所・連絡手段を話し合っておきましょう



質問 ロベの幹を利用した活性炭づくりが、島でできることが確認されているが、一年以上が経過しているが、今後どのように取り組んでいくのか。

答 リサイクルセンターと同時に検討したい

新産業活性炭づくりは、どうなっているか

は、八丈町防災会議の本部長の指示の防災無線、広報車両、場合によっては携帯電話の活用も考えたい。また、ライフラインが寸断されている場合は、各出張所の防災放送施設を使い広報活動を行う。
②住民の皆様には日頃から家族で避難場所・連絡方法を確認して災害に備えていただきたい。
③、④備蓄については島内8カ所の防災倉庫に毛布、炊出し用の釜、発電機、照明器具、テント、クラッカー7000食を備蓄している。また、支庁でも毛布や敷物、ロウソク、乾パン・クラッカー1万5715食を備蓄している。

答 山越 整 住民課長

備蓄品のほか、緊急災害時は島内の17の商店と食品や生活必需品を確保する協定を取り交わし被災者救済に努めている。
⑤小中学校の耐震補強工事は実施済みだが、桧立と中之郷の保育園については、統合と建替えを計画している。
⑥ヘリポートは各学校の校庭など島内6ヶ所で対応できると確認しているので、つくる計画はない。
⑦災害弱者や寝たきりの方、一人暮らしの高齢者を対象に自主防災組織を設置して、避難誘導訓練を毎年実施している。

新たな産業振興と廃棄物処理の観点から、平成16年度から17年度に経済産業省の地域新生コンソーシアム（共同事業体）研究開発事業に取り組んだ。農協のパッションジュース工場を借り受け、機械設備メーカー、(財)東京都環境整備公社、東海大学、農協と共同で実験を行ってきた結果、市販活性炭に近い成果物

久福松植樹の今後の対応を

植樹する松の本数等に合わせて場所を考える

を得た。借り受けていた工場の明け渡しをしなければならなくなり、現在は追加の実験が行えない状況。今後は、中国産石炭由来の活性炭との差

別化を図る研究とマーケティング調査をしながら、採算性や経済性を見極め、リサイクルセンターと同時検討に組み込みたい。



山下松邦議員

◆所要時間 6分

質問 宇喜多秀家ゆかりの地6ヶ所から、松の木を用意して今年の10月18日に植樹のため100名くらいのツアーを組む話がある。早急に受け入れ態勢を整備して、植樹を成功させて、今後の観光客誘致の足がかりにしていこうか。

答 佐々木昭産業観光課長

12月、3月の議会でも答弁したとおり、町有地に植えるとしても、何本の松を用意されているのかわからないため、本数等に合わせ用地を考えていきたい。また、管理、所有権などの問題から、情報をいただきながら検討していく。



秀家と豪姫の座像



秀家の墓

宇喜多秀家の生涯

宇喜多秀家は、1573(天正元)年、備前国(岡山)に生まれ、1655(明暦元)年八丈島で生涯を終えた戦国大名です。10歳の時父の直家が亡くなりましたが、羽柴秀吉に気に入られて養子になり、備前・美作五十余万石を相続しました。四国・九州平定の戦いや小田原攻めに従軍し、秀吉の養女になっていた前田利家の四女豪姫を妻に迎えました。また、14歳で参議、21歳で権中納言に昇進しました。1592年に始まる文禄・慶長の役(朝鮮出兵)には大將として出陣しました。この間、岡山に城下町の基礎を作り、五層天守閣を完成させ、児島湾干拓事業に着手するなど、藩政に心を配りましたが、家臣団の心をつかみきれず、優秀な人材が秀家のもとを離れていきました。1598(慶長3)年徳川家康、前田利家らとともに五大老に任ぜられました。秀吉が死ぬと家臣間の抗争が表面化し、徳川家康が影響力を強めていきました。

戦いに敗れ伊吹山中をさまよっていたところを矢野五右衛門に助けられ、島津家を頼って鹿児島に逃れました。桜島の麓に身を潜めること2年半、島津家では徳川幕府との講話を済ませ、秀家の命乞いをしました。徳川は島津の外交力に期待しその願いを聞き入れたともいわれます。秀家は駿河国(静岡)久能に幽閉され、1606(慶長11)年に二人の息子とともに八丈島に流されました。豪姫の実家、加賀の前田家から医者・乳母など家来10人が同行したので、一行13人が最初の八丈流人となりました。前田家や旧家臣花房家からの援助がありました。島での生活は楽ではなかったと言われます。秀家は、「久福」と名乗り、83歳で没するまでの50年を八丈島で暮らしました。大賀郷東里に秀家の墓、南原に豪姫と並んだ石像があります。

久福松とは?

宇喜多秀家が八丈島で「久福」と名乗っていたことから、秀家が大切に育てていた松を「久福松」と名づけた。明治41年刊の資料によると、秀家の墓の写真には、その「久福松」が実際に植わっていた記録があるが、現在はない。

行政視察レポート

期間
平成20年
5月24～27日

視察者
佐々木 治
山下 松邦
菊池 綾子
伊勢崎和鶴右衛
沖山 宗春



岡山県 岡山市

廃食用油の燃料化 事業について

岡山市は現在人口70万人で政令都市を目指している緑豊かな大都市です。晴れの国岡山

と言われてるように年間降水量は八丈島の約3分の1ほどの穏やかな気候で台風や雨の影響で飛行機が欠航してしまふ八丈とはかなり異なる気候風土であると地元の方との会話で感じました。

はじめは岡山市役所でバイオディーゼル燃料（BDF）製造事業化についての研修。現在全国的に注目されている

事業で、岡山市も来年の4月の実施に向けてとても細かく調査・研究がなされていて、丁寧な説明がありました。



岡山市議会にて

使用済み天ぷら油（廃食用油）は現在ほとんど焼却処理されていますが、地球温暖化ガス抑制効果（CO2削減）と化石燃料依存低減に軽油代替燃料としてBDFへの期待が高く、廃油の回収に伴い地域のコミュニティづくりや市民の地球温

暖化・リサイクルに対する意識づくりなどが見込まれるとの利点があげられました。八丈町に当てはめた場合、廃油の量、回収方法、製造プラント等の課題はありますが、岡山市に学べることは多いと感じました。



岡山県 瀬戸内市

消防団協力事業所 表示制度の導入について

続いて、岡山駅からローカル線で25分ほどの邑久駅にある瀬戸内市役所を訪問しました。

2004年に牛窓町、邑久町、長船町が合併したまだ新しい市で、農業が盛んでオリブ、野菜、米、ビール麦な

どの生産があり、数多くの文化財があります。

消防本部にて、消防団事業所表示制度の導入についての説明を受けました。全国的に消防団が減っていて、地域の事業所が従業員を入団させ、勤務時間中の消防団活動へ便宜を図るような制度を今年4月から実施しています。

人口約3万9000人で消防団員は16分団で514名、その内7事業所から46人がその制度を利用して入っています。事業所の協力により地域防災体制の一層の充実が図られ、消防団協力事業所には表示証が付され、社会貢献をされている事業所と認められます。とは言え、退団者が出ると代わりに新入団員を入れるように団員数の確保に努めているのは八丈町と同じです。女性消



瀬戸内市消防本部にて

防団員は？という質問では現場というより事務的な仕事で活躍の場があるのでPRして入団してもらいたいということでした。両市の事務局や担当課の方々にはとても親切な対応をいただき、充実した視察研修ができました。

報告者 菊池綾子

本会議の質疑から

みはらしの湯



長戸路義郎 議員

みはらしの湯の掘削した代替井から、お湯を張るのにどれくらいかかるのか。

健康課長

ポンプの性能等によるが、今まで3時間くらいかかっていたが、揚湯量が以前は毎分370だったのが400となつて井戸が建物に近くなつたことから、時間短縮は図れると見込んでいる。今のところ、かけ流しの温泉で埋め水を足さずに営業することを考えている。

塩害ロベの回復策



伊勢崎和鶴右衛門議員

塩害により、ロベの出荷ができない人が多い。以前、積雪による相当なロベの被害が発生した経験があるが、1300万円で回復は見込めるか。

産業観光課長

平成9年の積雪によるロベの被害額はおよそ5億9000万円で、回復のために投じた予算は1070万円。被害面積・金額とも今回の塩害は平成9年の積雪被害より小さいが、当時配布した肥料が3倍に値上がりしているため、1300万円になったが、十分対応できると考えている。



土屋 博議員

補正予算の中にロベ生産者向けの肥料代として、1381万円ついているが、どのように配布するのか。

産業観光課長

本年3月20日、4月7、8日の強風による塩害を受け、調査を実施した結果、農産物被害総額およそ1億4600万円、そのうちロベの被害額は約1億4500万円であった。

配布する肥料は、ロベの作付面積により上限を設けて、20以上の生産者には10袋までの配布を限度とし、20未満の生産者には5袋を上限にして配布する。受益者は41軒、農協に委託し配布を行う予定。

シヤクトリムシの早急な駆除を

伊勢崎和鶴右衛門議員

6月4日に、檜立の伊郷名でシヤクトリムシが大発生しているとの聞き現場へ行った。枝にぶら下がっているムシは、すでに6位で葉が効きにくい大きさに成長している。

早急な対策を講じないと、農作物への被害が心配される。また、早めの有効な対策を研究してほしい。

土屋 博議員

6月1日に消毒を実施したが、翌日大雨になった。時期が時期だけに、産業観光課1課での対応は無理なのではないか。

被害はどの地区で発生するかわからないので、パトロール隊を組んで情報を取り合つて、ムシが小さいうちに消毒を実施したほうがいいと思う。

産業観光課長

伊郷名の情報は聞いており、現場も行って確認してきた。

早急に消毒を実施する。またどういう方法が有効か研究しながらやっていく。

シヤクトリムシは害虫です

最近の八丈島では、シヤクトリムシⅡ写真Ⅱが、平成9年、平成16年に大発生しました。写真のように一見、小枝のような姿をしています。スダシイなど樹木につく害虫でロベなどの観葉植物にも被害を及ぼしました。



トピモンオオエダシヤク成虫



トピモンオオエダシヤク幼虫

八丈富士のノヤギ対策

菊池睦男議員

ノヤギ対策は、1億円あまりの予算で5年にわたって実施する事業だが、今回予算を工事請負費から委託料に予算の組替えを行なっているはずか。

また、どのように委託を行なうか。フェンスを購入してどのようにノヤギを捕獲する

のか。

産業観光課長

この事業は、東京都の島嶼農作物獣害防止緊急対策事業の一環として実施する。同事業の中には、大島町のタイワンザル、タイワンリス、新島村のシカ、八丈町のノヤギの対策を行っている。この事業内の予算は工事請負費が認められないため、委託料へ組替えた。

八丈町ノヤギ対策協議会では、農作物への被害があることから、農協と猟友会を委託先として考えている。

ノヤギがよく目撃される富士牧野のあそび平周辺にフェンスをつくって追い込む計画だが、広範囲であること、地面が岩が多いことが課題。有識者の見解を伺いながら取り組む。

洞輪沢温泉

副町長

洞輪沢温泉は、崩落のおそれがある地点から少しずれている。都道の拡幅があるときに合わせて考えたい。



田村六郎議員

洞輪沢温泉付近から汐間に行く都道沿いは崖崩れのおそれがあると心配されている

が、移転など検討しているか。



八丈富士のノヤギ

議会日誌

- 5月14日
東京都町村議会議長会役員会（議長）
東京都町村議会議長会臨時総会（議長）
東京都町村議会議員講演会（全議員）
- 5月19日～22日
平成20年度要望活動
（議長・山口英治議員・田村六郎議員）
- 5月20日～21日
第33回町村議会議長・副議長研修会
（伊勢崎和鶴右衛副議長）
- 5月24日～27日
行政視察
（岡山県岡山市・瀬戸内市）
- 5月30日
平成20年東京都島嶼町村会・同議長会 第2回合同会議（議長）
- 5月31日～6月1日
島じまん2008（議長）
- 6月2日
議会運営委員会
- 6月9日
第二回八丈町議会定例会
八丈町議会議員全員協議会
- 6月22日
八丈高校卒業生激励会（議長）
- 6月19日～24日
小笠原親善訪問
（佐々木治議員・小澤一美議員）
- 6月24日
総務文教委員協議会
- 6月30日～7月1日
優良町村議会行政視察（大分県玖珠郡九重町）
（議長）
- 7月2日～8日
小笠原諸島返還四十周年記念式典（議長）
- 7月16日
第一回八丈町議会臨時会
八丈町議会議員全員協議会

今年2月にスタートし、1300メートルを掘削した末吉・みはらしの湯。6月になり、揚湯試験を行った結果、約50度のお湯が確認された。秋に行われる都の自然環境保全審議会・温泉部会でポンプ設置の許可を得てから、温泉の再開となる。観光客の減少が続いており、住民は1日も早い再開を心待ちにしている。



次の定例会は
9月に開かれます。
皆さまの傍聴を
お待ちしております。

編|集|後|記

今、官僚の天下りが問題になっている。官僚の中で外務次官経験者は中米大使か主要国大使に転出する。また、次官、局長という中央省庁の高級官僚は、退職後天下りの渡り鳥を繰り返せば、3~4年周期で数千万円の退職金を手にすることができる。

そんな外交官の華やかなゴールをなげうって谷地外務次官が今春から3つの大学の学者として、後進の指導・育成に第二の人生を励み始めた。公務員の不祥事、怠慢、無駄遣いが次々と明るみになる中で、久々にさわやかなニュースである。

退職金といえば、知事や市町村長も4年ごとに1~2千万円の退職金をいただける。エネルギー、鉱物、食糧の値上げラッシュで国民の生活はますます厳しくなり、開発途上国では暴動まで起こっているのに。わが国の国民で4年ごとに1千万円以上のお金をいただける国民は何人いるだろうか。国家財政の厳しさが増す中、まもなく、3人に1人が高齢者という時代が来る。

高額退職金を住民福祉に廻そうとする、そんな爽やかな長がいつになったら現れるのだろうか。(R)

発行人 八丈町議会議長 沖山宗春
編集 議会だより編集委員会

〒100-1498

東京都八丈島八丈町大賀郷2345-1

tel 04996-2-1121 fax 04996-2-5575